

邑楽町教育委員会会議録	
開会年月日時刻	令和6年10月25日(金)午前9時30分
閉会年月日時刻	令和6年10月25日(金)午前10時45分
開会の場所	邑楽町役場2階204会議室
議案事項	なし
その他	(1) 事務局等職員人事について (2) 令和6年度邑楽町文化功労賞表彰者について (3) 令和6年11月行事予定について (4) 長期欠席者等の状況について (5) 次回教育委員会について (6) その他
出席者	教 育 長 小林 淳一 委 員 岡田 真幸 委 員 谷津 洋子 委 員 中村 郷志 委 員 橋本 明香
説明員	学校教育課長 松崎 澄子 生涯学習課長補佐 吉沢 貴 教育委員会書記 森本 賢太郎

会議録	
議長(小林)	ただ今より、10月定例教育委員会を開会いたします。 まずはじめに、前回の議事録について、岡田委員、谷津委員にご署名お願いしたいと思います。 次に、今回の議事録署名人を決定いたします。中村委員、橋本委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いします。 続きまして、教育長事務報告をいたします。 10月2日(水)は邑楽中学校の後期計画訪問日でした。2年生の音楽の授業を参観しました。午後は役場の大会議室で、支払・電子決済事務についての研修会に参加しました。6日(日)は、おうらスポーツフェスティバルでした。午前中、小雨の降る時もありましたが、屋内外の競技を開催することができました。小・中学生のリレーもおおいに盛り上がりました。7日(月)は課長会議でした。9日(水)の午前中は管内小・中学校長会議でした。教育長挨拶の中で、子どもたち一人一人の居場所感を高めることが幸福感につながることに、子どもたちの居場所感を高める学校経営をしてほしいこと等をお願いしました。午後は第2回人権教育推進協議会でした。人権擁護啓発優秀作品の審査を行ったり、優秀作品の発表方法、巡回展の日程等について確認したりしました。10日(木)は長柄小の後期計画訪問でした。1年生の算数、6年生の国語の授業を参観しました。11日(金)には、10日から延期になった第13回教育長杯グランドゴルフ大会が開催されました。鶉農村広場に赴き、開会式で挨拶しました。帰庁後は長柄小校長との人事ヒアリングを行いました。12日(土)は長柄公民館まつりの1日目でした。中央公民館で作品等を見たり、写経を体験したりしました。夜は長柄公民館を使用する関係団体の懇親会でした。町長ともども出席しました。13日(日)は町民体育館で第15回ドッジビー大会が開催されました。地区対抗ということで、たくさんの小学生が集まって熱心に競技していました。その後、中央公民館に赴き、長柄公民館まつりのステージ発表等を参観しました。15日(火)には庁議がありました。その後、邑楽南中、中野東小校長との人事ヒアリングを行いました。午後、大竹喜代子さんに令和6年度邑楽町教育委員会点検評価報告書における有識者の委嘱状を手交しました。16日(水)は高島小の後期計画訪問でした。5年生の学級会の授業を参観しました。17日(木)の午前中には、高島小、邑楽中、中野小校長との人事ヒアリングを行いました。午後に

	は大会議室にて開催されたハラスメント防止研修を受講しました。18日(金)には全員協議会がありました。19日(土)は群馬県教育振興会50周年記念式典・記念講演が高崎市市民活動センターにて開催されました。式典後の講演会では、前橋工科大学理事長の福田尚久氏の講話「夢を追いかける子どもたちのこれからの教育を考える」を聴きました。夜は町スポーツ推進委員連絡協議会送別会に参加しました。20日(日)は、町民体育館にて第45回町長杯争奪近県卓球大会が開催されました。町長、議長ともども開会式に参加しました。21日(月)は課長会議がありました。23日(水)は令和6年度邑楽町図書館協議会がありました。委員に任命書を手交するとともに、5年度の実績報告、今年度の事業計画等について協議しました。その後、文化功労者選考委員会に参加しました。推薦書の審査や今後のスケジュールについて協議しました。以上となりますが、ご質問等ありますか。 〔質問なし〕
議長(小林)	ないようですので、5その他の協議に入ります。 まず、お諮りします。(1)事務局等職員人事につきましては人事案件、(4)長期欠席者等の状況につきましては、個人情報案件のため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項及び第8項の規定により、非公開といたしたいと思いますが、異議ございませんでしょうか。 〔異議なし〕
議長(小林)	異議なしと認めます。それでは、これらにつきましては非公開とし、公開案件審議終了後に協議をいたします。それでは、(2)令和6年度邑楽町文化功労者受賞者について、吉沢課長補佐より説明をお願いします。
吉沢課長補佐	3ページをご覧ください。 令和6年度邑楽町文化功労賞表彰者について。この功労賞は、毎年町の文化の振興に寄与し、その功績が顕著であると認められる団体及び個人を表彰しております。今年度は「邑楽太鼓盛和会会長の稲葉進悟」さんが推薦されました。10月23日(水)に選考委員会を開催し、審査の結果、同氏を令和6年度邑楽町文化功労賞の被表彰者とすることが決定しました。この表彰は、11月9日(土)町民文化祭の開会行事におきまして行われる予定です。以上、ご報告いたします。

議長(小林)	報告が終わりましたが、ご質問はありますか。 よろしいでしょうか。この件に関しましては、このとおりの承知いただければと思います。次の令和6年11月行事予定について、松崎学校教育課長・吉沢課長補佐より説明をお願いします。
学校教育課長(松崎)	会議要項の4ページになります。 令和6年度11月行事予定について、主なものを申し上げます。まず、後期の計画訪問が11月も継続します。最終は14日(木)の中野東小学校になります。そのほか定例の管内校長会、課長会議、園長会議などの他には、6日(水)と13日(水)に教育支援委員会が開催され、特性を持つ子どもたちへの必要に応じた支援について検討を行っていく時期になります。5日(火)、6日(水)の中野小学校5年生の林間学校に始まりまして、21日(木)、22日(金)の中野東小学校6年生の修学旅行までご覧の通り各校の宿泊行事が組まれております。25日(月)は邑楽中学校で授業改善プロジェクトの公開授業がございます。皆さんご都合のつく方は是非おいでください。28日(木)、29日(金)は2つの中学校の職場体験が予定されています。主なものは以上でございます。
吉沢課長補佐	続きまして、生涯学習課の予定を連絡します。 5ページ、6ページをご覧ください。公民館等施設がございますが、主なものを申し上げます。まず、6日(水)高島公民館におきまして、ロビーコンサートを19時から開催します。出演はイージーサウンズという方たちで、懐かしのフォークソングを中心に行うと伺っております。9日(土)10日(日)は邑楽町中央公民館にて、町民文化祭を開催します。また、同日体育館では、チャリティープロレスを開催します。邑楽町のスポーツ推進委員さんでもあった島田さんを中心にプロレスの興行ということでチャリティープロレスが開催される予定になっております。12日(火)中央公民館と図書館では、大泉高校のインターンシップということで高校生女子2名がそれぞれ午前と午後に社会教育関係の業務を体験していただくことになっております。14日(木)生涯学習係で岡部蒼風作品展が24日(日)まで図書館で始まります。次の日の15日(金)からは中央公民館で岡部蒼風の関係で書道展ということで、皆様から募集した作品を展示する予定となっています。ページをめくっていただいて、6ページになります。16日(土)生涯学習係で岡部蒼風講演会が13時、続けて毎年講演をお願いをしている岡部蒼風の顕彰の委員さんでもある遠舩一器先生に講

議長(小林)	演会、ギャラリートークを行っていただきます。17日(日)生涯学習係・文化財係で長柄公民館の邑歩きの関係で、私が三笠焼酎工場跡説明の講師ということで参加する予定になっております。30日(土)中央公民館にて、おうら少年少女合唱隊S I N G ! の避難訓練を兼ねたコンサートが14時からということになっております。以上、報告終わります。 ご質問ありますでしょうか。 特にないようですので、この件に関しましては、このとおりご承知いただければと思います。次の(5)次回教育委員会の日程についてですが、事前に調整させていただいた結果、11月27日(水)の午前9時30分から開催予定とさせていただきました。こちらの日程でご異議ございませんでしょうか。 〔賛同の声〕 では次回の会議は、11月27日(水)午前9時30分から行うことに決定いたします。つづいて、(6)その他について、皆様から何かございますでしょうか。 ないようですので、先日の全員協議会で、オーガニック給食について話題が出まして、教育委員さんのお考えも聞いて欲しいという要望がありましたので、質問も含めてお考え等をお聞かせいただければと思います。まず、松崎学校教育課長から概要説明をいたします。
学校教育課長(松崎)	オーガニック給食について、経緯をご説明させていただきます。10月16日に小学校の保護者から学校へ電話がありました。その内容は、学校給食にオーガニックを取り入れて欲しいというものでした。他の保護者がどんな考えをお持ちなのかを知りたいので、アンケートをとりたいというお話もありました。 学校給食でのオーガニックへの取り組みにつきましては、令和5年度にも議会一般質問で取り上げられております。オーガニックを進めていくには、農業者の安定した収入が確保される必要もあるわけですが、販路はもちろん、安定した需要が不可欠となります。その点で国は、学校給食にもその需要の役割を求めています。学校教育課としましても、国が学校給食に求める役割は認識しておりますが、農業の面において、邑楽

	町にはオーガニックに取り組む環境がまだ整っておりません。邑楽町では、地産地消を推進してきております。近頃は物価の高騰が続いており、それに加え、給食費は県内でも、完全無償化の流れでございます。学校給食でのオーガニック取り入れはすぐに着手できる状況にはないことから、農業者や、販路などの環境が整い、かつ、給食センターでの作業性や予算等の折り合いがついた場合には、できることから取り組む考えがあるという内容で答弁をしてあります。町としては、まずは農業者に、オーガニックの栽培等への希望があるのか意見を聞くなどしながら、取り組みたい農業者がいるようであれば、町ができる支援について、農業者と一緒に考えていくという内容で締めくくられました。議会では、昨年の11月に、農業の観点から、大分県臼杵市のオーガニックビレッジを視察研修しております。 以上のように、学校給食でのオーガニック取り入れについては、すぐには取り組める環境ではないというのが町の現状です。この段階での保護者の意見を求めるアンケート実施ということにつきましては、個人が行うものとしては妨げるものではございませんが、学校や学校給食センターとして、アンケートの配信等への協力という点になりますと、それはいたしかねると保護者に伝えてあります。それを受けまして、保護者が議員さんへ相談なさったことで、全員協議会で話題となったものでございます。 その時の議員さんの反応は、その件についてはすでに学校教育課長から答弁をもらっており、様々な課題をクリアできた場合には、可能なことに取り組む考えがあると答弁があったよとか、学校給食センターには、運営委員会や献立部会など協議の場もあるけれども、教育委員会会議でも委員さんの意見を求めてみてはどうかなどがございました。そこで、委員の皆様からご質問などをいただきながら、協議できればと思います。よろしくお願いします。
議長(小林)	それでは、ご質問、お考えをお聞かせいただきたいのですけど。
岡田委員	オーガニックとはどういう定義なのか。
学校教育課長(松崎)	完全オーガニックという観点では、農業振興課から昨年度聞いたお話では、例えば土壌や水、そこに何かがまざっていたらもうオーガニックとは言えないとか。この点においては、邑楽町でオーガニック栽培というのは、かなりハードルの高いお話だということです。

岡田委員	無農薬というのもありますね。
学校教育課長(松崎)	農薬は使わないけれど、例えば、土に浸透しているものがあると完全オーガニックから外れてしまう。川から引いた水が入ってくる場合、その川の水は自然のものかというような視点も入ってくるので、完全オーガニックについては、かなりハードルが高いということでした。
谷津委員	邑楽町の土壌は、今はどんな感じなんですか。
学校教育課長(松崎)	申し訳ないですが、私には回答をいたしかねます。
岡田委員	待矢場で渡良瀬川から取水していると、例えば、鉍毒が残留しているかもしれないということですね。
谷津委員	かもしれない、となると検査しなければなりませんね。
岡田委員	なるほど。オーガニックというのは、農薬もちろん使わないということで、もう、大変なことだと思います。
谷津委員	農薬使わないと、今度はいろんな虫がつきますね。そうすると、給食センターでは虫が入っていることが問題になりますよね。
学校教育課長(松崎)	そうですね。野菜の大きさ、形、洗ったり刻んだりする過程などいろいろ考えると調理の手間は、オーガニックの方が増えると想定しています。仮に虫がついたり、虫食いがあったりする状態の場合には、どのくらいその葉を外すのかとか、その辺もあるんだと思うんですね。
谷津委員	市場などに出荷する場合、基準を満たすか検査をしますよね。
岡田委員	例えば、1週間前には農薬をやめるなど決まりがありますよね。農薬を使わないというより、使い方が決まっていたりしますね。
学校教育課長(松崎)	オーガニックの場合、出荷基準があってそれを満たしても、この辺を管轄している農協さんでは、流通の仕組みがない状態だそうです。

谷津委員	世の中には外食しても、いろんなものがありますよね。だから、学校給食だけがオーガニックと言っても、人にとってどのくらい意味があるのかとも考えます。
岡田委員	1日3食のうちの1食ですからね。自宅もオーガニックに取り組んでいるか否かでかなり変わりますね。
学校教育課長(松崎)	邑楽町だと毎日約2,000食を提供しているので、オーガニックのものを取り入れる場合に、何をどのくらいの量なら取り入れられるのか、入手できるのか、調理が可能なのか考慮する必要があります。例えば、調味料でオーガニックのものも出てたりとか、ゴマなどもオーガニックと表示されてるものも売ってます。全部をというのは相当ハードルが高いので、可能なことを見つけた場合に取り組んでみるのは不可能ではないと思うんです。その場合でも、コストは上がってしまうので、予算の問題は避けられません。献立なり、調理の仕方なりを日々工夫している中で、どの程度可能なかは不透明です。
谷津委員	給食も無償化が進んでいますけれども、もし予算以上になった場合に、家庭でその分を負担するかとか、そうなってくるとまたいろいろ意見が分かりますよね。なので、最小限度のできることから始めるのがよさそうですね。例えばさっきのゴマの話にしても、このくらいだったら取り入れられますとか。献立表に、この食材は、この調味料は、オーガニックを使っていますとか。少しずつじゃないんですかね。
学校教育課長(松崎)	そうですね。それだけでも価格ははね上がってしまうので、タイミングとか、これなら取り組めるというものを見つけたときに、可能な範囲でとはなってしまうと思います。
谷津委員	いくら予算がかかってもいいっていうなら可能かもしれませんがね。まずは家庭から始めたらどうか、という考え方もできますよね。
岡田委員	そうですね。この話題は家庭に戻してみたいですね。
学校教育課長(松崎)	それから、地産地消の観点から、オーガニックならどこでもいいのかという疑問も学校給食センター側にはあります。地産地消で野菜を町の農業者からできるだけ入れようと努力をしていますが、令和5年度の

橋本委員	実績では1年間の野菜全体のまだ4分の1に留まっています。夏野菜が少ないってところがあって。地産地消を進めようとしている一方で、オーガニックで高いものを町外から入れるってところに抵抗感が、センターとするとあるんですね。
	最近の子育て世代には、自然派の人って結構いて、その食事もやっぱりオーガニック重視の方もいます。例えば生協とか、トップバリューなど自社ブランドを持っているところでは、農薬何%以下のラベルが貼ってあったりして、そういうのしか使わない方もいたりします。医療関係だと予防接種はいらないとかそういう自然派にこだわってる人がいます。今の世の中、個人の考え方は否定できないと思うんですけど、もしそれを学校とか行政に求めるということであれば、叶わないこともありますよね。どうしても折り合いが付かないようであれば、例えば、ご自宅で作るオーガニックのお弁当を持参するご提案とか。お弁当持参は、アレルギーとかがないと、特別な事情以外は本来はそういうことは望ましくないと思うんですけど。 あとは、私もテレビで見たことあるんですけど、一部の地域とか一部の畑をオーガニックにしても、害虫などが、無農薬にしたところに集まって来るそう。例えば九州とかそういう広大な敷地があって、地域とか、かなりの規模でオーガニックを推進してる場所じゃないとできないと聞いたことがあります。小さな町でごく一部で、オーガニックにしても難しいのかなと思います。
谷津委員	今アレルギーの方はお弁当ですか。
学校教育課長(松崎)	アレルギーの方は栄養教諭が保護者と面談をしてありますので、詳細な献立を別枠で、普通の献立の他に1人ずつ出しています。それを見て、選んで食べています。宗教の方は、お弁当です。ポークのエキスから駄目とかありますので、そういう方はお弁当持参です。
谷津委員	オーガニックを学校給食に求める方に、お弁当はどうでしょうかねって言った場合、きっとその思いとはちょっと違うんですよね。
学校教育課長(松崎)	そうかもしれないですね。他の保護者の方が、どう考えているか知りたいという点も、アンケートのとり方にもよると思うんですけど、オーガニックのことどう思いますかって質問されれば、悪い印象を持ってる方

	ってあんまりいないと思うんですね。オーガニック自体はいいことですよねってなると思うんです。ただ、それを邑楽町の学校給食でとなると、高いハードルが今はいっぱいある状態です。
谷津委員	アンケートをとるとしたら「どう思いますか」だけ聞くのではなく、そのためにはこれだけ予算がかかりますなどいろんなメリットとデメリットを明記しておいて聞かないとですよ。
学校教育課長(松崎)	アンケートをするということは、やろうとしているんでしょっていうのが前提としてあると思うんですね。でも、やろうとしてもハードルが高い環境に今あるので。町としてとか学校としてとか学校給食センターとしてアンケートをとるとか協力するのは、現状では、そのタイミングではないと考えています。
中村委員	確かに、オーガニックを実施するのは町単位というか。生産者とも協力が必要で、臼杵市の話じゃないですけど、あそこもそういうサイクルができてやってるんでしょうけども、そこまで到達できるまでの計画をしないと、オーガニックという言葉がなかなか表に出てこないかな。
学校教育課長(松崎)	そうですね。千葉県いすみ市が取り組んでいるんですけど、販路の確保もそうだし、生協だとかお店も含めての取組で、行政だけでやっているわけじゃないんですよ。地域がみんな関わって実現にこぎ着けたということです。
岡田委員	オーガニックでずっと食べてれば、体にいいとか、検証した結果はあるんですかね。農薬使った物とオーガニックとの比較。自然だから体にはよさそうな気はしますけどね。値段は、オーガニックの方が高くなるわけですから、安い方が手は出しやすいですけど。
学校教育課長(松崎)	そうですね。家庭の1食をオーガニックの物を使って調理するのと訳が違うのが、やっぱり毎日2,000食というところなんですよ。学校から虫がいましたと連絡があれば、出向いて確認をして以後気をつけるのが学校給食なので、その辺も気になります。
谷津委員	私も家庭菜園で経験したんですけども、キャベツとか小松菜も一晩で穴だらけです。

橋本委員	地産地消の野菜は、農協さんの持ち込みでしょうか。
学校教育課長(松崎)	給食センターに持ち込みの方もいるんですけど、農協さんとかに出荷している方が、給食センター用には朝採りを新鮮なうちに届けてくださったりしています。
谷津委員	邑楽町のブランド白菜、邑美人なんかは基準が厳しいそうですよね。ブランドでなくても基準を満たす野菜をみなさん出荷なさっていて、そういう丹精込めた野菜を学校給食に提供していただいている。だから、邑楽町が地産地消の野菜を積極的に学校給食に取り入れていることは、それだけでもすごいなと思ったんですけどね。ありがたいと思います。
学校教育課長(松崎)	そうですね。誰が作ったか顔が見える野菜を使うことによって、安心もできますね。コロナ禍で少し中断しましたが、農家さんが学校に行って、その栽培の苦労だとかをお話してくださったりとか、食育にもつなげてきてますので、子どもたちの目線に立った有意義な取り組みっていうのはしてきていると思うんですね。
岡田委員	学校や給食センターに生産者の顔写真が貼ってあるじゃないですか。
谷津委員	そうですよ。そういう町の取り組みも保護者向けにもっと発信してもいいかもしれないですね。保護者への発信っていうのは、すごく大事だと思います。
岡田委員	たくさんの工夫をして給食を提供していることなんかも、保護者にも伝えてもらわないとわからないですね。カロリー、栄養価、値段など、これをうまくバランスとって出してるんで、本当にその苦労話は、聞いてみないとわからない。本当はね、文章ではなく保護者が集まった場面で話せるといいですね。
谷津委員	保護者が負担する給食費以上に町がたくさんの費用を負担して提供しているバランスのとれた給食が出せなくなったら、実際これでお弁当にしてくださいなんて言ったら、保護者の皆さん大変ですから。今の、学校給食が提供されている環境を維持したいですね。

学 校 教 育 課 長(松崎)	そうすると、今、オーガニックはすぐには取り入れられる状況ではない訳ですが、その状況であることについては仕方がないなという認識でよろしいですか。
全委員	その部分はそうですね。
中村委員	ただ、今回の保護者のような声はかなり上がって来てから、役場はどう考えてるんだって言われてから動き始めるんじゃないと思うんだよね。オーガニックの件も頭に置いて目を向けながら進むのが、私はいいと思いますけどね。体にいいものをどう作るかっていうのは、環境が変わってきてる中で、多分、全国的に世界的に必要な認識だよな。
谷津委員	お昼の一食でも、給食は栄養バランスもよくて大事な存在なんです。朝をしっかりと食べられなくてもお昼だけは栄養もしっかりとれて本当に助かります、と保護者から感謝されている話も聞きました。
中村委員	やはり、学校の給食っていうのは、子どもたちに必要なものですよね。オーガニックに限らず、学校給食の維持が難しくなるような判断っていうのはちょっと避けたいですね。子どもの成長にもものすごく役立ってると思いますよ。
橋本委員	さっきの保護者への発信っていうところで、給食だよりには、例えば篠塚の誰々さんちの白菜ですと紹介があったり、入荷する予定の野菜がいつのメニューに使われますとか、リクエストメニューがどんな内容かなど結構載っています。見ている保護者少なくないと思うんですが、ペーパーレス化になってデータ配信になっているので、今はどのくらいの保護者が見ているか気になります。
学 校 教 育 課 長(松崎)	そうですね。スマホで自分から見に行かないとわからないっていうのは確かにあるかもしれませんね。
中村委員	紙配布の時は、子どもが家で出さない、どうすれば親に届くか、ということが問題でしたが、今度は、どうすれば保護者が見に行くか、なんですね。
学 校 教 育 課	いろんな話題がつかみませんが、アンケートについては、タイミン

長(松崎)	グ的には今でないという、この事務局の認識について、ご意見はありますか。
全委員	ありません。
学 校 養 育 課 長(松崎)	学校給食センターとすると、オーガニックについてはいろいろな観点を持ちながら、できることが見つかったときに取組みをするというような方向性でよろしいですかね。
全委員	はい。
議長(小林)	皆さんのやりとりをお聞きして、私なりにちょっとまとめさせていただきますと、オーガニックという理想は、いいんだけど、町の農業の現状とか、あるいは物価の問題とか、あるいは地産地消の施策、それを考えると、すぐに取り入れて、どうこうできるっていうのは難しい。できることから取り入れてやってみる方向性を大事にしたいっていうことが1点。 あともう1点は、これは、学校給食だけでどうするかっていう問題ではなくて、町全体の農業の取り組みとか方向性にも関わることなので、教育委員会としてというよりももっと広いまちづくりの観点から考えていかなきゃならない、そういう印象を持ったんですね。
全委員	そうですね。
議長(小林)	実際に、できるところから、っていうのはまた難しいかもしれませんが。
岡田委員	入荷は可能なんですかね。
学 校 教 育 課 長(松崎)	野菜でとなると難しいと思うので、さっきも出た調味料だとか、食材の中の一部とかで、値段の見合うものが見つかったときに、といった探り方をしないといけないかなと思います。
議長(小林)	そうすると、できることがあるか探って行きます、という言い方が適切でしょうか。
全委員	そうですね。

岡田委員	できることがあるか、もわからないですから。
中村委員	まだスタートラインに立ってない状態ですからね。スタートラインがどこにあるかを探る感じですね。
議長(小林)	みなさんのご意見をお聞かせいただき、ありがとうございました。 そのほかで、事務局から何かありますか。
学校教育課長(松崎)	学校教育課から、10月管内校長会の報告をいたします。邑楽町の手話言語条例が9月に施行ということになりましたけれども、これの報告を校長会でもしました。手話言語条例には学校における手話の普及として、第9条のところに「町は学校教育における手話への理解の促進及び手話の普及の促進を図るように努めるものとする」とあります。また、財政上の措置として、第11条には「町は手話に関する取り組みを促進するため、必要な財政上の措置を講ずるよう努めるものとする」とあります。この2点について、9月19日(木)に福祉介護課長と子ども支援課長と生涯学習課長と学校教育課長で今後の対応について打ち合わせを行いました。令和6年度は生涯学習課の取り組みとして、公民館で子ども向けの手話の体験型の講座を開催してくれるそうです。子ども支援課と学校教育課の取り組みとしましては、4月当初から園や小中学校にはお話をしてきたんですけれども、園・小中学校では手話体験に関して可能なことに今年度は取り組む。授業の中であるとか、遊びの中であるとかに手話に触れる機会を作る。福祉介護課は、令和7年度に向けて手話講師の派遣代金について予算化を目指す、ということが今年度の各課で出来ることです。令和7年度は、小学校を中心に適切な学年や学習の機会において手話の学習に取り組めます。5年生の教科書に手話の「あいうえお」といったことが出てきたりしていて、あとは総合の時間の福祉の学習の中で取り組むことが今まではあったようですので、そのような場面を捉えてということになります。園においては、小学校で手話を学ぶことを念頭に手話に慣れる機会を作っていきます。公民館では、手話通訳者付きの文化講座などの開催を継続していくことになりました。このような方向性で手話言語の理解と広がりを持って地域で支え合い、手話言語を使って安心して暮らすことが出来る共生社会の実現を目指し、町として取り組んでいくことを報告して学校との共通認識を図らせていただきました。 次に、近隣の教育委員の異動について報告です。館林教育委員会より委

	員の異動通知が届いております。教育長職務代理者ですが、令和6年10月1日付けで委員の中から新しい教育長が指名されました。これまでの教育長職務代理者でありました旧教育長は委員として残ります。また1名の委員について、令和6年9月30日に任期満了となりまして、新たに令和6年10月1日付けで新委員が就任されました。 続いて、群馬県市町村教育委員会連絡協議会会長の異動です。令和6年9月30日付けで会長が退任され、令和6年10月1日付けで新会長が就任されました。 最後に、10月22日(火)から10月24日(木)にかけて議会の視察調査へ同行して参りましたので、学校教育課所管分について簡潔に報告いたします。視察先は、千葉県鴨川市の長狭学園というところです。長狭学園は、千葉県で最初に小中一貫校に取り組んだ学校です。鴨川市の面積が191.14平方キロメートルで、館林市と邑楽郡を合わせた面積193.24平方キロメートルとほぼ同じ面積になります。地形は、2つの山系に挟まれた平野がありまして、その両脇には山があって海があるというような変化に富んだ地形となっております。学校教育目標は、0歳から15歳までの連続性のある学び・育ちを重視した教育の推進ということです。人口は、邑楽町より4500人ほど多いです。小学校児童数と中学校生徒数は、ほぼ同規模です。学校数は中学校が3校、小学校が7校あります。長狭学園というのは、そのうちの小学校1つと中学校1つが同じ敷地にある統合型で一貫教育を行っている学校です。他の2つの中学校区は、小学校と中学校が点在する中で分離型ではありますが、一貫教育を行っているそうです。長狭学園は、長狭小学校に106人の児童、長狭中学校に69人の生徒がいて、合計すると175人の児童生徒が在籍していて、すべて学年は単学級です。邑楽町でいうと高島小学校が186人で、ほぼ同規模になります。校長は、長狭学園として1人います。教頭は、小学校と中学校に1人ずつ配置されています。公立校ですので、県費の教職員が通常の人事異動の中で配置されています。義務教育が9年間ありますが、それを3個に分割して前期が小学校1年から4年の4年間、中期が5年から中1の3年間、後期が中2中3の2年間と3分割して発達区分ごとに育てたい力を設定していらっしゃいます。職員室も前期・中期・後期の島が出来ていて、広い空間に小中の教職員が一緒に入っています。職員会議も一緒、学校行事や児童生徒とのふれあいも一緒にやっているということでした。教科によってですけども、5・6年生に対して中学校の教員が学習を指導しています。そういうことで小中学校の繋がりを意識した体系をとっています。学校の規模が小さめでその状況や環境にあった教育方針を掲げて
--	--

	おられる印象を感じました。長狭小学校なんですけれども、実は長狭小学校の106人は元々3校に分離して点在していたものを1校にまとめる必要があり、長狭中学校の敷地内に作ることで統合型の一貫教育ということにしたということでした。3日間で5自治体視察させていただいたんですけども、その中で各自治体の取り組みからヒントをいただきまして、邑楽町の教育行政に活かしていければなと思います。以上です。 ありがとうございました。他に質問はありますか。
議長(小林)	他になれば非公開案件に移りたいと思います。 5の(1)事務局等職員人事について、を議題とします。 以下非公開
議長(小林)	次に、その他の(4)問題行動等の状況について、を議題とします。 以下非公開 それでは、以上で10月の教育委員会会議を閉会します。 ありがとうございました。